

| | | | | | |
|---|--|------|---------------|-----|------|
| 科目名 | 開講時期 | 開講学年 | 必修/選択 | 単位 | 時間 |
| 公衆衛生看護学実習Ⅱ | 前期 | 4 | 選択 | 4単位 | 180h |
| 担当教員名 | メールアドレス | | オフィスアワー | | |
| ◎久米絢弓 廣田幸子 | ayami.kume@tohto.ac.jp sachiko.hirota@tohto.ac.jp | | 学生の申し出により時間調整 | | |
| 実習の概要 | | | | | |
| 市町村保健センター、学校、事業所等の多様な場における対象の特性をとらえ、それぞれの場や対象に対する保健活動（継続した訪問指導を含む個人・家族・集団・組織の生活支援、また地域および対象のアセスメントや支援活動の計画実施評価等）の展開を見学や実践から学び、それらを修得する。関連する法律や制度、行政施策と保健師活動の関係、それぞれの活動の場における健康危機について学び、自ら実践できる能力を養う。 ※この科目は看護師・保健師の実務経験のある教員による授業科目です。 | | | | | |
| キーワード | 到達目標 | | | | |
| 地域保健 | I 地域保健実習 1. 地域の特性を把握し、地域の健康課題を理解する。 | | | | |
| 学校保健 | 2. 市町村の公衆衛生活動が地域住民の健康課題に果たしている役割を理解する。 | | | | |
| 産業保健 | 3. 対象の健康ニーズを捉え、対象の特性に応じた援助方法を修得する。 | | | | |
| 公衆衛生看護活動 | 4. 地域支援活動に参加し、個人や家族、集団を対象とした保健指導技術を修得する。 | | | | |
| 保健師 | 5. 地域の保健・医療・福祉、関連する法律や制度、その他の関係機関の役割と連携の実際を理解する。 | | | | |
| 養護教諭 | 6. 住民の主体的な保健組織活動の実際を学び、健康政策への住民の参画の意義を理解する。 | | | | |
| | II 学校保健実習 1. 学校教育における保健活動の体系と活動の実際について理解する。 | | | | |
| | 2. 養護教諭の活動、役割について理解する。 | | | | |
| | 3. 健康課題に応じた多職種、地域の関係機関との連携の方法を理解する。 | | | | |
| | III 産業保健実習 1. 事業場の概要、特性および産業保健活動の展開方法について理解する。 | | | | |
| | 2. 産業保健活動における看護職の業務、役割を理解する。 | | | | |
| | 3. 健康課題に応じた地域保健活動との関連および連携の方法を理解する。 | | | | |
| 学習内容 | | | | | |
| 1. 目的 家庭や地域で生活している人々の健康状態、ヘルスケアニーズを人々の生活や環境との関係からの確にアセスメントし、個人・家族・集団・組織・地域を単位とする看護計画の立案、実践、評価の過程を展開する。地域における人々の健康を守る保健・医療・福祉の地域ケアシステムを理解し、公衆衛生看護の機能と役割を広い視点で捉える。 | | | | | |
| 2. 実習場所 市町村、地域包括支援センター（3週間） 小・中学校（1日） 事業所（2日） ※実習の詳細は、「公衆衛生看護学実習 実習要項」を参照すること。 | | | | | |
| 受講要件 | | | | | |
| 保健師課程履修者 | | | | | |
| レポート | その他 | | 合計 | | |
| 80% | 20% | | 100% | | |
| 教員からのメッセージ | | | | | |
| 保健師課程の必修科目です。公衆衛生看護学関連科目を中心に復習し、実習に臨んでください。 | | | | | |